

我ら 50 期 ここにあり

ONE FOR ALL , ALL FOR ONE

先週の私学入試を受けた皆さんお疲れ様でした。私学を専願で受験し、合格した人はこれで高校入試は終わりになります。また、公立高校を受験する人はこれから本番になります。毎年、私学高校に合格し、高校受験が終わった人の中で気が抜けてしまう人がいます。これから本番を迎える人と本番が終わった人の間に温度差が出来てしまいます。そうならない為にも入試が終わった人はこれからの高校生活に向けて準備をしましょう。

ONE FOR ALL , ALL FOR ONE という言葉を聞いた事がありますか？そのまま訳すと「一人はみんなの為に、みんなは一人の為に。」という意味になります。しかし、この言葉の本当の意味は「一人はみんなの為に、みんなで目的のために。」という意味になります。この言葉はラグビーから生まれた言葉で、ラグビーの試合は 15 人が 1 つのチームで行われます。この 15 人にはそれぞれのポジションがあり、タックルをする人やボールを持って走る人、最終ラインで守る人など、一人一人が自分の役割を果たさないとトライを取ることが出来ません。つまり、トライ（目的）を取る為に全員が役割を果たすことが重要なのです。

これを皆さんに置き換えると、50 期 3 年生は一つのチームです。そして、皆さんは今志望校に合格するという目的のために動いているといえます。「一人はみんなの為に、みんなで合格（目的）のために。」といえるでしょう。私学に合格し進学が決まった人は目的を達成したといえるでしょう。しかし、目的を達成した人もまだチームの一員です。仲間の合格の為に役割を果たし、全員で合格を掴み取りましょう。



しゅ は り 守・破・離

守・破・離とは、日本の茶道や武道などの芸道、芸術における師弟関係の在り方の一つです。

もともとは、千利休の訓で「^{きく}規矩作法守り尽くして破るとも離るとも本を忘るな」を引用したといわれています。

守とはまずは師匠から教わった型を徹底的に「守る」ところから修業が始まるということです。師匠に従い師匠の型を身につけます。破は師匠の型やその他の流派の型などを研究し、より自分にあった型を模索し、試すことで既存の型を破ることができるようになります。離はさらに修業を重ね、師匠の型と自分で見出した型の両方を自分自身の技として理解することができ、既存の型に囚われることなく、型から離れ新たな流派を生み出すことができるということです。

皆さんは 3 年間でたくさんのことを学び、型を身につけたと思います。中学校を卒業し、また新たな型を身につけて型を破り、今までの型から離れ自分の生き方、考え方を生み出して欲しいです。ただし、千利休の訓の最後の「本を忘るな」とあるとおり、教えを破り離れたとしても根源の精神は見失わないことが一番大切だということを覚えていてください。

卒業式まで残り 25 日

卒業式まで残り 25 日となりました。このうち学校がある日は残り 18 日です。まだ 18 日もあると思う人もいれば、あと 18 日しかないと思う人もいるでしょう。ちなみにこの日数を秒単位に換算すると 1 日 86400 秒なので 18 日だと 155 万 5200 秒あります。こう聞くと少し長く感じますよね。ただ、皆さんが中学校生活を送った 3 年間秒単位に換算すると 9460 万 8000 秒になります。3 年間と比べると残りわずかな感じがしますね。

皆さんには残りの 1 秒 1 秒を大切に過ごして欲しいです。まだ、入試がある人は大変だと思いますが、友達と楽しい時間を過ごして悔いのない中学校生活にして欲しいと思います。

